

# 日々の授業をサポートする 充実のラインナップ



■教師用指導書

- |   |  |   |  |
|---|--|---|--|
| 1<br><b>Teacher's Book<br/>(朱書編)</b><br>解答例、指示文の英訳、<br>補充QA & TF問題、<br>リスニングスクリプト<br>など | 2<br><b>解説編</b><br>教科書の内容解説、<br>本文全訳、文法・語法解説、<br>題材情報 など           | 3<br><b>指導編</b><br>指導案、オーラルイントロ<br>や生徒との対話例、<br>評価資料、年間指導計画<br>など                     | 4<br><b>小中接続編</b><br>小中接続期にあたる1年1<br>学期(Unit 0~5)の指導案  |
| 5<br><b>ワークシート編 ①<br/>基礎・基本</b><br>活動や問題の解答記入用、<br>「小学校の単語」の定着用、<br>読み解説などのワークシート       | 6<br><b>ワークシート編 ②<br/>アクティビティ</b><br>各单元の活動をさらに豊かにするアクティビティ用ワークシート | 7<br><b>ワークシート編 ③<br/>リーディング</b><br>読みの力を高める補充リーディング教材を収録。<br>各学年に合わせた語数で、「3段階読み」に対応。 | 8<br><b>CD(音声)/<br/>DVD-ROM<br/>(データ)</b><br>CD/リスニング問題音声<br>DVD/本文テキスト、<br>リスニングスクリプト、<br>ワークシート、イラスト、<br>ストーリースライドの<br>データ、単語・連語<br>一覧 など  |
| <b>9<br/>指導者用デジタルブック</b>  |  |   |  <p>The digital teacher's book interface includes a sidebar with various tools like 'Picture Card', 'Flash Card', 'Movie', and '操作' (Operations). The main area shows a preview of a reading activity with a cartoon illustration of three children looking at a map and a travel guide. Below it, a scene from 'A Trip to Singapore' is displayed, featuring a woman packing her suitcase and a text box asking about travel plans.</p> |

教師用指導書に同梱します。



東京書籍

本社  
支社・出張所

〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1  
札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467 金沢 076-222-7581 名古屋 052-939-2722  
大阪 06-6397-1350 広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1770 那霸 098-834-8084  
<https://www.tokyo-shoseki.co.jp> 教育資料データベース 東書Eネット <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/>

令和2年6月発行

Copyright © 2020 by Tokyo Shoseki Co., Ltd., Tokyo. All rights reserved. Printed in Japan.

# NEW HORIZON English Course

# 指導に生かす 新しい評価

新しい学習指導要領のもと、  
小学校外国語の教科化を受け、  
中学校での英語の授業はこれまでにない  
大きな変化が求められています。  
これからを見据えた新しい学力観のもとに  
教科書も大きく改訂され、  
生徒が英語を好きになり、英語による  
コミュニケーションを行うことができる力を  
伸ばしていくことになります。

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた  
授業改善を行うためには、

こうした指導方法の変化とともに、  
新しい評価のねらいと方法を理解し、  
評価の方法にも変化が求められています。  
指導と評価の一体化を考えしていくことで、  
生徒の学びを支えていきたいものです。

文教大学 教授  
あのこういち  
阿野 幸一

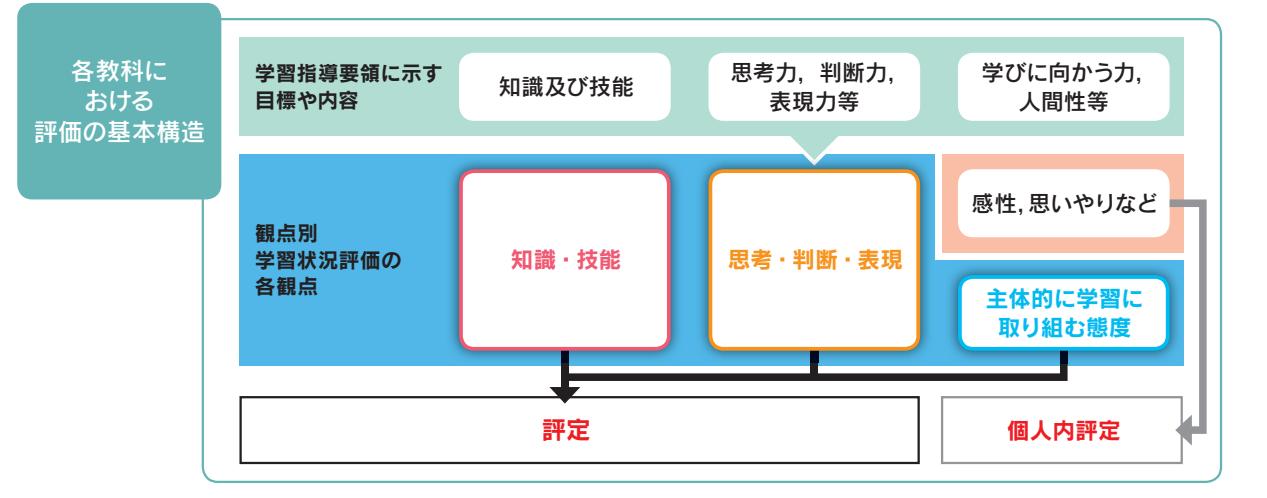


## Profile

文教大学国際学部国際理解学科教授、同大学院国際学研究科教授。  
埼玉県立高等学校、同中学校、茨城大学を経て現職。NHKラジオ講座  
『基礎英語』シリーズなど、出演多数。2020年発行の小学校英語教科書  
『NEW HORIZON Elementary』(東京書籍)の編集代表も務める。

# 3観点による評価の考え方

新しい学習指導要領の目標及び内容が、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」という育成すべき資質・能力の要素として3つの柱で再整理されました。これを踏まえ、各教科における観点別学習状況の評価の観点については、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理されています。この3観点を、中学校の英語の授業における指導と評価においてどのように捉えていけばいいのか、それぞれの観点について考えていくことにします。



## 1 知識・技能

サッカーを例に考えてみましょう。みなさんが、サッカー選手の「知識・技能」を評価するとします。「ボールのけり方を知っている」は知識に当たります。もちろんこれは必要な知識であり、どのようにボールをけるのが適切かという知識は、筆記テストで測ることができます。しかし、この知識の有無によって、いいサッカー選手かどうかを評価することはないと私は思います。けり方の知識を活用して、ボールをねらったところへけることができるようになって、知識を生かした技能を身に付けていると考えることができるでしょう。

体育の授業でこうした技能を見取る場合には、ゴールに向かって実際にボールをけるという実技テストを行うことになります。そして、ゴール内にボールを正確にけることができるかどうかを判断して、知識と技能を一体化して評価することになるでしょう。

これを英語に当てはめて考えてみましょう。未来を表す表現であるbe going toを授業で学習したとします。その後の筆記テストで“I ( ) ( ) visit

Singapore next week.” の( )にそれぞれ(am) (going) (to)を入れることができれば、この学習項目の知識を理解していることになるでしょう。しかしこのテストでは、be going toが生きて働く知識になっているかはわかりません。自分が来週の予定について考え、シンガポールに行くということを聞き手に伝えるために “I am going to visit Singapore next week.” と言えることで、be going toについての知識が技能として働いていることになります。この段階で「知識・技能」の観点で評価を行うことになります。

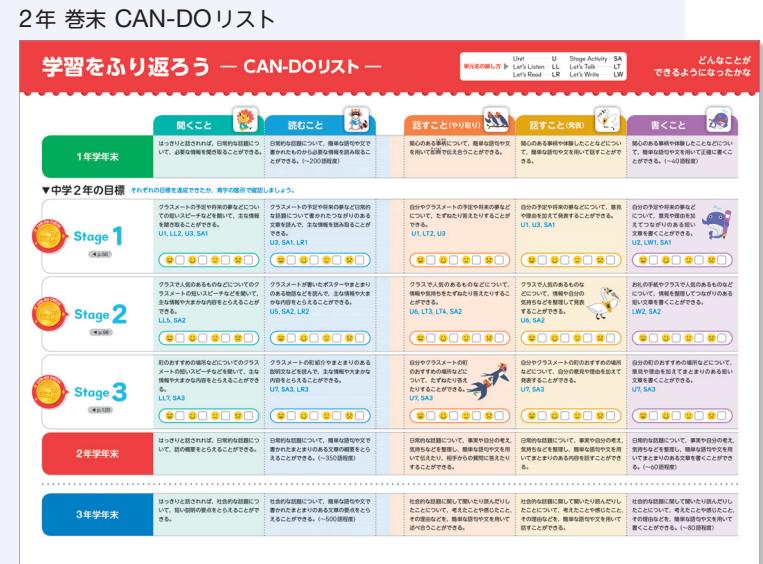
このように知識と技能を統合させて評価を行うことで、指導も変わってきます。先ほどのサッカーの例では実際にシュートをできるように指導することが求められます。同様に英語の授業でも、自分の予定を伝えることができるようになると目指して be going toの使い方を言語活動を通して指導し、予定を伝えられるかを「知識・技能」として評価していくことになります。

# 評価を指導に生かすために

ここまで新しいNEW HORIZONを使った指導における評価について2年生のUnit 1を例として考えてきました。それぞれの単元での具体的な4技能5領域の評価規準については、教師用指導書に例示していますので、そちらを参照していただければと思います。

評価を行う際に考えなければならないことは、「生徒の学習改善につながるものにしていくこと」として「教師の指導改善につながるものにしていくこと」です。つまり、教科書を使った指導の流れの中で適切な場面で評価をしていくことで、生徒が最初の評価場面でできなかつたことが、次の評価の際にはできるようになっていることが大切です。また、筆記テストとパフォーマンステストを両輪として活用することで、4技能5領域にわたる生徒の英語力を評価し、その後の指導の重点の置き方を考えるきっかけにもなります。

指導によって「生徒ができるようになっているか」「できることを目的・場面・状況に合わせて使えるようになっているか」を評価し、評価の結果から「生徒ができるようになるために指導すべきこと」「使えるようになるために指導すべきこと」を確認して実施していくこと。こうしたサイクルを作り上げていくことで、生徒の英語学習の支援をしていかなければと思います。



教師用指導書 指導編 評価規準例

	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>【知識】 be going to, 助動詞will, SVOO, SVOC (C=名詞)の文の表す意味を理解している。 【技能】 be going to, 助動詞willなどの理解をもとに、予定や計画などについての対話の内容を聞き取る技能を身に付けている。</p>	<p>旅行の楽しさと海外の文化や言語について考えることができるよう、海外旅行の予定などについての対話を聞いて、概要を捉えている。</p>	<p>予定や計画の詳細を確認するため、それらについての対話を聞いて必要な情報を捉えようとしている。</p>
読むこと	<p>【知識】 be going to, 助動詞will, SVOO, SVOC (C=名詞)の文の形・意味を理解している。 【技能】 be going to, 助動詞will, SVOO, SVOC (C=名詞)の文などの理解をもとに、観光名所の紹介や旅行の報告の内容などを読み取る技能を身に付けている。</p>	<p>旅行の楽しさと海外の文化や言語について考えることができるよう、海外旅行についての観光名所の紹介や報告などを読んで、概要を捉えている。</p>	<p>旅行の楽しさと海外の文化や言語について考えることができるよう、海外旅行についての観光名所の紹介や報告などを読んで、概要を捉えようとしている。</p>
話すこと [やり取り]	<p>【知識】 be going to, 助動詞will, SVOO, SVOC (C=名詞)の文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 週末の予定などについてメモを使って整理し、be going toなどを用いて伝えたり答えたり、助動詞willなどを用いて即興で相手に助けを申し出したりする技能を身に付けている。</p>	<p>おたがいの予定の違いなどがわかるように、週末や夏休みについて、それぞれの日の予定を整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。</p>	<p>おたがいの予定の違いなどがわかるように、週末や夏休みについて、それぞれの日の予定を整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。</p>
話すこと [発表]	<p>【知識】 be going to, 助動詞will, SVOO, SVOC (C=名詞)の文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 自分について、be going toや助動詞willなどを用いて、週末の予定などを即興で話す技能を身に付けている。</p>	<p>ある観光名所の特徴を知つてもうため、その名所を紹介する動画のナレーションで読んだことについて、概要をまとめて話している。</p>	<p>ある観光名所の特徴を知つてもうため、その名所を紹介する動画のナレーションで読んだことについて、概要をまとめて話そうとしている。</p>
書くこと	<p>【知識】 be going to, 助動詞will, SVOO, SVOC (C=名詞)の文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 be going toや助動詞willなどを用いて、週末の予定や相手に助けを申し出る文などを正確に書く技能を身に付けている。</p>	<p>夏休みの旅行の予定表を作るために、行く場所やそこについて、簡単な語句や文を用いて、それぞれの日の予定を書いている。</p>	<p>夏休みの旅行の予定表を作るために、行く場所やそこについて、簡単な語句や文を用いて、それぞれの日の予定を書こうとしている。</p>

## 3 「深い学び」に向けた指導と評価

また、それぞれのUnitには、単元を貫く問い合わせ最初のページとRead and Think②の最後にPoint of Viewを示し、教科書の学習を通した生徒自身の考えの深まりを表現活動の中で確認できるようになっています。

この問い合わせに関する生徒の考え方を、話すことや書くこととの発表活動として単元の終わりに行うことで、「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の評価として使うことも考えられるでしょう。

2年 p.7 Unit 1 扇

Unit  
1

# A Trip to Singapore

目標 旅行の楽しさと海外の文化や言語について考える。

主題 休暇や遠洋の予定について、まとめることができる。 ▶ p.16

❖ What countries do you want to visit?

**Point  
of  
View**

Words

experience [ɪk'spiəriəns] overseas [əʊ'veərseɪz] Singapore [sɪng'gɔ:pə]

❖ What can we experience on overseas trips? ▶ p.16

seven 7

English, so I can communicate with him.

Overseas trips are very interesting. We can experience different languages and cultures.

Asami

◆金額の上部に4つの星で  
国名が書かれた  
シンガポールの紙幣

[78 words]

▶ p.16 Grammar 1

People call it the Singapore Flyer.

call A + B

[AをBと呼ぶ]という意味になる。  
callのあとには、「A [人・もの]+B [名詞]」  
の順になる。

Practice [例] People call it the Singapore Flyer.

朝美がシンガポール旅行の写真を見せながら、ジョジョと話しています。

① I / my aunt / Emi-obachan ② my uncle / her / Emiko

③ she / me / Asa-chan

自分のまわりの人の呼び名について、「私は…を呼びます」という文を言い、ノートに書きましょう。

14 fourteen

## 觀點 2

## 思考・判断・表現

また、こうした評価は、一つの単元の中だけで完結するものではなく、複数単元を通した学習を通して行うこともあります。特に複数の単元で学ぶ学習事項を、目的、場面や状況に応じて生徒自身が選択して使用していく力を評価することも必要でしょう。これがそれぞれの学年で学期末ごとに用意されている**Stage Activity**になります。4技能5領域の統合的な活動の中で、学期全体を通しての、話すことや書くことの「思考・判断・表現」と「主体的に学習に取り組む態度」の評価を行うことができます。

上記のサッカーの例で、ゴールに正確にボールをかけることができるようになれば、サッカーの技能が高い生徒と評価できるでしょう。ただし、この生徒が試合で活躍できる選手とは限りません。なぜでしょうか？確かにボールをける技能は高いことはわかりますが、実際の試合では、チームメイトとの関係や対戦相手の選手との駆け引きの中で、さまざまな場面や状況に対応しながら、目的を持ってボールをけらなければなりません。つまり、自分の置かれた状況の中での動き方を考え（思考し）、どこにボールをけるかを適切に判断し、実際にボールをけるという行動（表現）を行います。こうした一連の流れの中で、身に付けている知識や技能を活用して、目の前にある課題を解決していきます。

未来を表す表現 **be going to** の場合はどうでしょうか？ 授業中の指導でも評価の場面でも、これから予定を表す状況設定を行い、自分の予定を伝えたり、相手の予定をたずねたりという言語活動を行っていき

*Ms. Cook:* Asami, do you have any plans for the Golden Week holidays?

*Asami:* I'm going to visit my aunt. She and her husband live in Singapore. I'm so excited.

*Ms. Cook:* Nice! There are many sightseeing spots in Singapore. Actually, I went there last year.

*Asami:* Oh, really?

*Ms. Cook:* Yes. I bought some guidebooks on Singapore then. I'll give you one of them.

Asami: Wow. Thanks Ms Cook.

ここでは、これから迎えるゴールデンウィークについて話をする場面、そして自分の予定を伝えるという目的の中でのやり取りが提示されています。このUnitで学習するbe going toやwill（2重下線）を、既習の現在形や過去形（下線）とともに用いることで、

ます。そうした中で、正確に **be going to** を使った文を理解したり、自ら表現できたりすることができれば、知識を持ち、活用できる技能を持ち合わせていると判断できます。しかし、さまざまな未知の状況に直面する実際のコミュニケーションにおいては、目的や場面、状況に応じてさまざまな既習事項を使い分けていく力が求められ、そうした中で伝えるべきことや表現方法を考え（思考し）、ある内容を伝えるためにはどの表現を使うことが適切かを判断し、実際に表現することになります。

新しいNEW HORIZONの2年生のUnit 1で考えてみましょう。教科書本文を学習する前のPreviewで、以下のような会話を映像と音声で確認することで、このUnitで学習するbe going toやwillが使われる目的・場面・状況を提示し、生徒がこのUnitの学習を通してできるようになることをイメージできるように具体化して示しています。

Preview (2年 p.8 Unit 1)

**Preview**

目的  
確認  
状況

教室で、莉美とクック先生が話しています。  
対話を聞いて、わかったことを伝えましょう。

2人はどんなことについて話しているのかね。

わかったこと

---

columns クラスルーム

シンガポールは東南アジアにある多民族国です。面積は約720平方キロメートル(東京23区と同程度)といいながら、その中に中華系、マレー系、インド系などの住民がほとんど暮らし、多文化の街を形成しています。西側についてみると、美しい海岸線、ドッグラン、タスマル港を公用語と定めています。シンガポールはスマートフォンなど多くの観光スポットがあり、アジアを代表する旅行地として人気があります。

シンガポールの国旗

生徒が場面や目的に応じて適切に表現することができるようになるモデルとして、「知識・技能」だけではなく、「思考・判断・表現」までの評価を見通した導入として、「何ができるようになるか」「できることをどのように使うか」を示しています。

### 3

## 主体的に学習に取り組む態度

ここまで「知識・技能」と「思考・判断・表現」の2つの観点について考えてきました。この2つの観点だけで、学習指導要領に示された外国語科の目標である「コミュニケーションを図る資質・能力」をすべて評価することができるでしょうか？

サッカーの試合で監督が出場選手を選ぶ際に、サッカーについての知識と技能を持ち合わせ、目的・場面や状況に応じたプレーができる選手であることは大切な要素です。しかし、試合に勝つためには、最後まであきらめずに粘り強く取り組もうとする姿勢や、自分たちのチームの状況を把握してプレーの仕方について

試行錯誤するなど、自らのプレーを調整しようとする態度も必要でしょう。英語においても、知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする姿勢や、さまざまなコミュニケーションの場面に適応できるように自らの学習を調整しようとする態度などを見取り、主体的に実際のコミュニケーションを取り組もうとする態度も評価していくことになります。これが、「主体的に学習に取り組む態度」の観点からの評価になります。

てみるとことで、文法の意味や形を確認します。この練習は、全員の生徒に一つの正解を求めて正確に表現できるようにするためのものですが、そのあとで書く活動として、生徒自身の今週末の予定について表現する練習があります。ここで、生徒自らが自己表現に向けて、獲得しつつある「知識・技能」を活用しようとしている状況を観察することで、「主体的に学習に取り組む態度」として評価を行うことも可能です。

そして Scene①と②のあとには Mini Activity があります。

この活動では、ここまで Scene①と②で学んだ文法の理解をもとに言語活動を行うことで「知識・技能」を評価することになります。教科書本文の題材とは別の場面を提示しつつ、その文法を用いて同様の目的を達成するための聞く、話す、書く活動を行います。後日行われる中間考査や期末考査でのリスニングテストを含む筆記テストにおいても「知識・技能」の評価は行われますが、特に話すことの2領域である「やり取り」と「発表」についてのパフォーマンス評価を、この段階で見取ることができます。

## 2

## 「できることをどう使うか」の指導と評価

Mini Activity のあとには、Read and Think①と②の学習へと進みます。ここでも新文法を取り上げてもいますが、学習の中心は題材を通して生徒の思考を深め、考えや思いを引き出すことがあります。こうして、単元で学んできた題材や言語材料をもとに、生徒自身が自己表現を行う4技能5領域を統合させた言語活動を行うのが Unit Activity です。

Unit Activity 自体は一貫したテーマで行う統合的な活動ですが、3段階に分かれている STEP1・2・3 では、特定の技能や領域の評価ができるようになっています。この Unit 1 では「夏休みの旅行計画」を生徒

自身が考え、伝え合う活動を行いますが、調べ学習をもとに計画を立てながら be going to や will を使い分けたり、自分の思いを伝えるために既習の不定詞を使って表現したりしながら活動に取り組みます。ここで行われる発表活動の中で、「思考・判断・表現」と「主体的に学習に取り組む態度」の評価を行うことが考えられます。そして、同じページの下には CHECK として「題材」「活動」の2つの侧面からの「できるようになったこと」(CAN-DO)の振り返りが用意されており、生徒自身が単元全体での学びを自己評価できるようになっています。

## 教科書を使った指導における評価

指導計画に沿って授業を行う中で、評価を行う場面は多くあります。生徒の学習状況を適宜把握して、その後の指導改善に生かしていくことが必要です。そのためには、単元の中のある一定の内容や時間のまとまりごとに、記録に残す評価の場面を精選することも大切です。ではどのような場面でそれぞれの観点の評価を行うことが可能かを、上記の説明で用いた未来の表現である be going to や will を学習する新しい NEW HORIZON の2年生、Unit 1 A Trip to Singapore を例に考えてみましょう。

### 1 「できるようになるため」の指導と評価

まずは Preview で be going to や will の使い方を適切な場面で確認し、この Unit で「生徒ができるようになること」に意識を向けています。これを受け、Scene①と②で、教科書本文の Preview に関連した話題の別の場面を通して未来を表す表現の使い方に触れ、実際の使用場面と使い方を踏まえて、Key Sentence で明示的な知識として学習することができます。

ここで得た文法の知識について、練習を通して生きて働く技能へと橋渡しをするのが Practice です。この練習でも、本文で示された題材を生かした場面設定が行われており、生徒自身が登場人物になって「使つ

**Scene① (2年 p.9 Unit 1)**

**Key Sentence 1**  
I am going to visit Singapore next week.  
Are you going to visit Singapore next week?  
Yes, I am. [No, I am not.]

**Practice**  
① I'm going to visit Singapore next week.  
② I'm going to visit Singapore next week.  
③ I'm going to visit Singapore next week.

**Mini Activity (2年 p.11 Unit 1)**

**Mini Activity**  
Listen  
① 海外旅行について、友達と会話を聞きましょう。  
② 海外旅行について、友達と会話を聞きましょう。  
③ 海外旅行について、友達と会話を聞きましょう。

Speak & Write  
① 週末の予定についてメールを書きましょう。  
例: 週末は...  
② 週末の予定についてメールを書きましょう。  
例: 週末は...  
③ 週末の予定についてメールを書きましょう。  
例: 週末は...

④ 週末の予定についてメールを書きましょう。  
例: 週末は...

**Read and Think 1, 2**

**Unit Activity (2年 p.16 Unit 1)**

**Unit Activity**  
夏休みの旅行計画  
① 週末の予定についてメールを書きましょう。  
例: 週末は...  
② 週末の予定についてメールを書きましょう。  
例: 週末は...  
③ 週末の予定についてメールを書きましょう。  
例: 週末は...

**STEP 1** ① 人気の観光地を調べよう  
② ガーデンズバイザベイ Gardens by the Bay  
③ ナイトサファリ Night Safari  
④ オーチャードロード Orchard Road  
⑤ セントーカー Sentosa

**STEP 2** ① 旅行の予定表を作ろう  
② 行き先の場所や行動予定を決めて、旅行の予定表を作りましょう。  
例: Day 1 July 30 → arrive at Changi International Airport at 6:20 p.m.  
Day 2 .  
Day 3 .  
Day 4 .  
Day 5 .  
Day 6 → leave for Japan at 10:30 a.m.

**STEP 3** ① 作った予定表を紹介しよう  
例: A: I'm going to visit Singapore from July 30 to August 3.  
B: What are you going to do during the trip?  
A: I want to do some shopping and have lunch at a nice restaurant.  
B: Great! How about on August 1?  
A: I'm going to ...

**CHECK**  
CAN-DO  
1. 旅行の楽しさと海外の文化や言語について考える。  
2. 旅行の予定についてまとめることができる。